

第1回 福岡空港関連自動車専用道路計画策定プロセス第三者委員会 議事要旨

日 時：平成27年7月2日（木）14時00分～15時20分

会 場：福岡市役所15階 第4特別会議室

議事概要：

発言者	発言要旨
事務局	<p><開会挨拶、委員紹介等></p> <p>議題1 第三者委員会の設置について</p> <p>①規約（案）について</p> <p>②傍聴要領（案）について 事務局が趣旨を説明、承認される。 ※傍聴者1名入室</p> <p>③委員長選出 委員長に辰巳委員を推薦し承認される。</p>
事務局	<p>議題2 検討の進め方等について <資料2説明></p>
委員長	<p>計画検討区間、検討の進め方、現状と課題、意見聴取の方法のそれぞれについて議論を進めたい。計画検討区間と検討の進め方まで何かあるか。</p>
委員	<p>今年度中に概略計画を策定するスケジュールについて、アセス法の手続でなく、全体の道路計画の仕組みの中で考えた場合、たとえばアセス法の配慮書手続が実施された鈴鹿亀山道路と比較すると、タイトであるが、スケジュールについてはどのくらいが妥当であると考えているか。</p>
事務局	<p>意見聴取は、30日間を基本としている。計画検討については、丁寧に行うよう考えている。</p>
委員長	<p>「鈴鹿亀山道路と比べるとタイトである。」という意見については、福岡市での他事例と比較することが出来るか。</p>
事務局	<p>配慮書の事例は少なく、道路については三重県の鈴鹿亀山道路が全国で初めての事例である。この事例を参考にし、効率も考えながら、関係機関と調整を行い、配慮書手続をすすめていく。</p> <p>方法書以降については、自動車専用道路アイランドシティ線の事例では、都市計画決定、評価書まで約4年かかっている。</p>
委員	<p>道路計画の決定の仕組みと環境影響評価法の配慮書手続との関係がわかりにくいため、</p>

手続に關与する關係者や住民にとっては難しい。配慮書は法定手続としては3ヶ月であるが、新しい手続であるので、慎重に丁寧に説明していくべき。

委員長 p 22に記載の空港を発着する高速バスについて、約5分の遅延があるとのことであるが、飛行機に乗る場合は、平均5分遅れるため5分早く行くのではなく、最大遅れる時間を想定して行動しなければならない。空港の遅延でも通常は平均と最大を示すのではないか。渋滞状況については最大の遅延時間がほしい。

事務局 資料のデータは、特定の1日について実際に何本かのバスに人を乗せ調査した際の最も遅かった遅延時間である。

委員長 バス事業者に確認されると具体的な数字が出ると思う。

事務局 混んでいる状況をよく知る関係者にヒアリングをしていきたい。

委員長 道路計画の必要性において、遅延による影響が実際と相違ないようにして欲しい。所要時間の課題について、抽出課題の「Ⅰ主要渋滞箇所を通過する」と、「Ⅱ混雑している」は類似している。Ⅲは事故危険性、Ⅳは環境といった整理になっているが、いかがか。

委員 環境で、騒音の環境基準を超過していることが課題として挙げられているが、交通量は道路が新設されても増えるのではないか。騒音の環境基準との関係性が分かりにくい。走行性が向上することによるCO₂の関連は分かるがどのように考えているのか。

事務局 自動車専用道路により一般道の交通がそちらに転換し、騒音が低下する効果を想定している。

委員長 騒音のところで、環境基準値を超えているというのは分かるが、ここは航空機が飛び、騒音としてはそちらが大きいと思うのだが、そのあたりはどうか。

事務局 住民感情としては、そのとおりである。環境基準は航空機と道路についてそれぞれ設けられており、それぞれ対策を行うことで、全体として環境が良くなるという考え方である。

委員 道路計画の必要性について、福岡市の健全な発展としては交通計画全体として課題を考えていくべきではないか。CO₂や騒音などの課題を検討しようと思えば、モーダルシフトも必要である。地下鉄もあるので適切な分担が必要である。その上で将来性を考えると道路が必要であると説明できるようにすべき。

32, 33ページで参考としている自動車専用道路の位置づけの箇所などは、本件道路が「福岡市都市交通基本計画」に位置づけられていることが書いてある。これは、本

件道路が福岡市の計画の中でどのような位置づけにあるかについて、政策的に裏付ける重要な要素であり、大切な部分であるので参考にとどめるのではなく、本文に示すことを考えてほしい。

事務局

公共交通は重要な視点であると考えている。福岡市都市交通基本計画でもそうである。この資料がマイカーに偏っていることを感じた。都心からは地下鉄を使うが、一方で太宰府方面などは鉄道のアクセスがよくないため、同じ自動車でも高速バスなどの公共交通を使うようにしてほしい思いはある。

課題や方向性などの修正を検討する。

委員長

全体のストーリーとして方向性を示し、福岡市都市交通基本計画からのアプローチもしてほしい。

委員

限られた期間であるので、重要なポイントが3つある。

一つめ、開催自体の周知の徹底である。

たとえ何回開催しても周知が徹底されていなければ、知らなかったとなり、1回開催でもしっかり周知されていれば、住民が知った上で、参加する・参加しないを選択することになる。

二つめ、重要な案件であり、説明会の中で会の進行を行うファシリテーターがいれば、合意形成が図られる。

三つめ、今年度の意見聴取は2回であるが、平成28年度以降も説明会は開かれるため、都市計画決定手続の中でも環境影響評価の手続の中でも、意見を述べる機会がある。道路計画の全体スケジュールを説明会で見せつつ、今後も機会があることを周知する。今しか言えないのではなく、各段階で意見を言えることを併せて説明していくとよいのではないか。

事務局

周知の徹底に気をつけていきたい。他の部分についても出来る範囲で検討したい。

委員長

各段階での意見聴取は、どういう目的で行うのかを明確にしておかないと、次にも意見を言えると思ったら言えなかったということになるので、その点に注意していただきたい。

委員

福岡空港周辺の課題を解決するために検討が必要であるとしているが、福岡空港周辺のローカルだけでなく、福岡全体、九州全体のために空港の機能強化が必要であるというべきではないか。福岡の道路の課題、方向性については、選択と集中、もっと大きな視点が必要であるとすべきではないか。その視点を入れてはどうか。説明会の時にもあった方がよいと思う。

事務局

アンケートの趣旨であるが、我々の視点で課題としたものが市民のみなさまとずれがないかどうかを把握する目的である。

委員長	<p>アンケートを一つにしようとするとう無理がある。対象によって聞く項目を変えるべきではないか。あるいはどんな対象の方でも対応できるものにするかのどちらかである。もう少し検討する必要がある。問 2 の主な利用状況だが、一番多い主要な目的を記載するのか、たまたまそこにきた目的を記載するのか、アンケートを記入する人が回答に困るのではないか。集計上も明確にしておいた方がよい。</p> <p>アンケートについては、本日意見をいただいております、その後は事務局にお願いする形でよい。</p>
事務局	<p>ご意見をいただいた内容について、メールなどで確認させていただきたいと考えている。</p>
委員長	<p>事務局で整理をして、後日確認がされるとのことである。</p>
委員	<p>我々が認識している課題と住民の方が認識している課題のギャップを把握することと道路計画が必要かどうかの問いは要らないか。車は使わないからという意見もあるのではないかと一つ。</p> <p>問 3 はネガティブな感じがするので、肯定的な言いの方が良いと思う。</p>
委員	<p>空港を利用する人の中には、航空機を利用するのではなく、通勤などで乗り換えの地点として利用する層はいないのか。本件道路ができれば、そうした層にとっても利便性が良くなるのでは。そもそもそういう需要があるのかわからないが。</p>
事務局	<p>空港での乗換需要の把握はしていない。</p>
委員長	<p>パーソントリップ調査などで把握するしかないと思うが、住民にどう聞くのかアンケートに反映させるのは難しいかもしれない。やり方を考えなければいけない。</p>
事務局	<p>利用状況を確認し、やり方を検討したい。</p>
委員	<p>交通拠点として利用しているか、空港として利用しているかの目的の違いでは。</p>
委員	<p>道路の必要性を問う・問わないについてはどうか。</p>
事務局	<p>問 3 の中で必要と感じない方は、不便でないを選択するのではないかと考える。</p>
委員長	<p>そうであるなら、道路計画の必要性があると考えているとの表現はいかがか。</p>
事務局	<p>事業費などを示した上で、意見を聞くことは可能と思うが、今の段階では難しいと考える。</p>

委員長	空港口ビーで聞くときに福岡のことを知らない方が答えることもあるが、そこはご存じない方は書かなくて良いとのことか。
事務局	オープンハウスでは、興味がある方が回答されることを想定している。
委員	問4について、重視するものとして環境などについて聞いているが、事業そのものについては聞かないということか。
事務局	問3と問4の関係性が難しく、問3で課題と感じておられる方は、問4でまた同じような質問が並ぶことになるため、問4は問3と重複しないようにしている。
委員	複数案を聞くときに多少は道路の機能も必要ではないかと考える。必要でなければよいが。
委員長	問3と問4をセットにしてはどうか。全体のレイアウトを含めて検討してほしい。そのほか全体を通じて何かないか。
委員	自動車専用道路の線形の案は提示されて意見聴取をするのか。騒音などの生活環境や自然環境への影響はどこをどう通るかによってかわる。そのため、線形を提示しなければ分からないとしかならない。アンケートの結果を基に計画を進めていく、妥当性の根拠とするために整理した方がよい。線形を出せない段階であるのはわかるが。
事務局	3pの図を示す予定である。
委員長	理論上はアンケートの結果は評価の重み付けについて使える。アンケートについては実際にどういうものが出来るのか想定して答えるため、出せる情報は出した方がよい。
委員	合意形成のために、どこに住んでいるかなど属性と結果をつなげて考えられるように配慮した方がよい。単純に意見を聴取しただけかといわれたいないようにしてほしい。
委員長	その他何かないか。
委員	アンケートの資料について、説明していただければ理解できると思うが、一般的には難易度が高い。工夫が必要。
委員長	アンケートの際に、この厚い資料は読まないだろう。
委員	プロセス全体の計画の仕組みをみんなが勉強し、情報共有しながら、合意形成を図り、計画決定していくということが趣旨。そのために必要な情報をきちんと提供するために、少し工夫をする必要がある。

委員	今後、何をやっていくかをきちんとお伝えしたうえでアンケートに答えてもらうべき。たくさんにならない程度の情報にする。どう使われていくかをきちんとお伝えすべき。
委員長	電化製品などは、ある程度使い、必要に応じて説明書を見るという使い方をするので、アンケートについても見て書ける程度にしてほしい。
事務局	資料の概要版を作成するなど検討する。
委員	空港の調査でP Iを行っている。それを通じた色々な経験があると思うので、アイデアを参考にされればよいと思う。
委員	選択肢の中に公園・文化財などへの影響とあるが、具体的に何か影響が想定されるのか。想定はないが、一応入れておかないといけないということか。
事務局	環境アセスの観点から選択肢として入れている。
委員	具体的に公園にかかるということか。
事務局	可能性としては有り得る。
委員長	具体的にどこを見れば、どの説明があるか誘導があっても良いかもしれない。 特になければ、今後、道路計画を進めて行くに当たり、合意形成、法律について必要な意見をいただいたが、環境、防災、もしかすると地下構造物の観点など、アンケートについても漏れがある可能性があり、その他の項目を設けておく必要があるのではないか。併せて、この点について一般的に留意すべき点があれば、意見をお願いしたい。
委員	防災の観点というよりも、空港敷地は御笠川の水が集まる地域である。浸水ハザードマップにもあるように、板付遺跡としても分かるように御笠川は右左に氾濫する。地下構造物は浸水を考えるべきであるが、御笠川の浸水対策も進められている。道路計画の際どこに重きを置くかを考えて複数案を設定すべき、防災のみを考慮すると非現実的なルートを作らないといけなくなる。
委員	道路のラインが決まらないことには環境について何が必要かコメントすることは出来ない。住民の方に聞くということではなく、数字に基づいて議論していくものであると思う。 公園とか、景観の話は住民の方にとっては心理的なもので必要だが、内容が決まっていないときのアンケートであれば、具体的にになったときとは違ってくるため、うまく使い分ける必要がある。

委員	アンケートを書く方は事業者がより多くの意見が欲しいだけでなく、推進する意見を欲しいだろうと思ってしまう。事業者の意図を伝えるため、アンケートの内容もそうだが、丁寧になるべく見せるものは見せるという配慮をするとよい。また、意見聴取の結果が計画検討に繋がるようプランニングを考えた方がよい。
委員長	どういう意見が出るかはこれからだが、事業をしやすいように意見を集めるわけではなく、住民の意見を集める。ただし、無関心で影響のない人がいい加減に答えたものが、結果に影響しないような配慮が必要。
委員	都市計画、アセスの手続は住民の方にわかりにくいので、事業については都市計画プロセスにおける意見聴取があり、配慮書手続では環境に特化した意見提出であることを十分に理解してもらえるように工夫した方がよい。
委員長	たくさんの意見をいただいたが、事務局で整理し、修正をお願いしたい。 (3)「その他」について、事務局からご説明下さい。
事務局	本日いただいたご意見をふまえて資料の修正等を行い、委員の皆様にもメール等でご確認いただいた後、準備が整い次第意見聴取を行う。第2回の委員会については、後日、日程調整等させていただくので、どうぞよろしくお願いしたい。
委員長	以上で本日の議事については終了した。 後は、事務局にお願いする。
事務局	<閉会挨拶>